

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(3) 読書バリアフリーの推進			
施策の方向性	誰もが利用しやすい図書館を目指し、館内設備やバリアフリー資料等の充実、及び支援が必要な人に対するバリアフリーサービス、多文化サービスの拡充を図ります。また、より多くの人のサービス利用を促進するため、周知の強化を図るとともに、サービスを提供・支援する人のスキル向上に取り組んでいきます。			
主な取組	①館内設備の充実			
	②バリアフリー資料の充実			
	③バリアフリーサービスの充実			
	④多文化サービスの充実			
成果指標	バリアフリーサービスの認知度	策定時点	目標値(R9)	
		17.0%	20.0%	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	バリアフリー資料の充実	バリアフリー資料の蔵書数	2,641冊	2,030冊
	外国語コーナーの充実	外国語資料の蔵書数	2,013冊	1,940冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①館内設備の充実		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館の棚の一部に傾斜板を設置し、利用者が立ったままでも本の背表紙を見やすい環境を整備した。今後は、利用者が目的の本を探しやすいように見出しの変更を検討していく。 ◆まどかぴあ図書館では、R7年度のシステム更新にともない、利用者の操作性を高めるため、マウスやキーボードに加え、画面タッチでの操作も可能な新しい図書検索機を導入する。 ◆まどかぴあ図書館では、バリアフリー機器の充実のため、案内カウンターにルーペと助聴器を設置した。情報誌『パララ』を通じて拡大読書器などの機器を紹介したが、助聴器と比べて利用が少なかった。そのため、拡大読書器の認知度を高め、利用促進を図るべく、今後も積極的に周知していく。		②期待どおり	
	②バリアフリー資料の充実		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館では、バリアフリー資料を積極的に収集し、大活字本について男性向けのものや女性向けのものとのバランスを意識して購入した。LLブックや「てんじつき さわるえほん」も収集し、設置場所も工夫したことで、障害の有無に関わらず幅広い年代に利用された。今後は、資料を増やすとともに、展示スペースを改善し、資料をより分かりやすく展示できるよう工夫していく。 ◆まどかぴあ図書館では、利用者がサービスについて自由に情報		①効果が期待以上 ※目標を超える図書資料の充実を実施したことから、期待以上とした。	

	<p>を得られるよう、県立図書館のバリアフリーサービスと大野城市作成の障がい者福祉のしおり「はばたき」を館内に設置した。今後は、これらのサービスが関係者により広く知られるよう、積極的なPR活動を展開していく。</p>	
	<p>③バリアフリーサービスの充実</p>	<p>達成状況</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆まどかぴあ図書館において、対面朗読サービスで希望者が出たが、後にキャンセルとなったが、この際の準備記録を基に実施マニュアルを改訂した。今後は新たな希望があった際に迅速に対応するため、職員間で拡大読書器やiPadなどの機器の使用法を復習しておく。</li> <li>◆市において、視覚障がいのある人への読書支援として、「視覚障がい者用拡大読書器」を3件給付した。今後、より多くの対象者が利用できるよう周知を徹底し、読書支援ツールの給付を引き続き行っていく。</li> <li>◆手話通訳者の図書館派遣サービスは、利用者の希望に応じてまどかぴあ図書館が大野城市役所所属の手話通訳士に同席を依頼し実施する。このサービスを関係者に広く認知してもらうため、今後は効果的なPR方法を検討していく。</li> <li>◆まどかぴあ図書館において利用されていないバリアフリーサービスが多く、点字ボランティア代表者会議に出席し周知を行った。今後はボランティア団体への周知を徹底し、利用者へサービスを紹介してもらえ環境を整えていく。</li> <li>◆認知症予防に関心を持つ人を対象とする「ここふるオレンジカフェ」において、読書ボランティアによる読み聞かせを実施した。今後も活動を支える読書ボランティアの紹介も続けていく。</li> <li>◆まどかぴあ図書館のバリアフリーサービスについて、各種障がい者手帳の交付時などに障がい福祉のしおりにより周知した。今後も引き続き、障がいのある人へ情報が届くよう、周知活動に取り組んでいく。</li> </ul>	<p>②期待どおり</p>
	<p>④多文化サービスの充実</p>	<p>達成状況</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆まどかぴあ図書館では、言語別に古い資料を見直して、コミックや名作の対訳本を積極的に選書した。また、洋書の絵本リスト作成と書誌情報の更新により検索を容易にしたが、外国語絵本と児童書の棚の配置の分かりにくさが課題として残った。今後は資料受入を継続しつつ、本の配置を改善していく。</li> <li>◆まどかぴあ図書館では、英・中・韓国語の3言語で利用案内を作成しカウンターに配置した。配布機会は少なかったが、外国籍の利用者への説明に役立った。今後も利用者の要望に応じて別言語の案内を迅速に提供できるよう、環境の整備を進めていく。</li> </ul>	<p>②期待どおり</p>

	◆まどかぴあ図書館において、コミュニケーションボードから「パスポート」の文言を削除するなどの修正を行った。今後もボードの内容に修正が必要な箇所がないか定期的に確認していく。	
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
A 改善		
改善結果		